

**明るく元気な保育士** せんせい 春日智佳さん ともか

小学生の頃から、子どもと接する仕事に就きたいという明確な夢を持っていた智佳さん。その夢が叶い、4月から山形保育園で働いています。

当初は予測できない子どもの動きに振り回されることもありましたが、今では対処もお手のもの。大変な事も多いといいますが、子どもの笑顔を見るだけで元気になれる今の仕事に生きがいを感じているそうです。「子どもたちから“せんせい”と初めて呼ばれたときはすごく嬉しかった」と語ってくれた智佳さん。

元気いっぱいの山形っ子たちを輩出すべく、今日も笑顔で子どもたちと向き合っています。

(2月13日 山形保育園にて)

働姿
シリーズ

告知板

歴史講演会のお知らせ

日時 3月4日(土) 午前10時～
場所 トレーニングセンターふるさと大ホール
講師 平林 彰さん (長野県埋蔵文化財センター調査部長、日本考古学協会)
テーマ 縄文人の暮らしぶり
―山形村の遺跡にふれながら―
問合せ 山形村教育委員会事務局 (☎98-3155)

ふるさと伝承館出張ミニ展示

「山形村にも疎開の子どもがやってきた
～役場文書から紐解く学童疎開～」

戦争体験者が減り風化の進行が顕在化してきた
現在、様々な角度から見つめ直すことが重要とい
われるようになりました。そこで役場に残されていた
学童疎開に関する公文書を紐解き、紹介したい
と思います。

期間 3月14日(火)～4月23日(日)
但し月曜日休館
場所 ミラ・フード館 1階ロビー
その他 見学無料
問合せ 山形村教育委員会事務局 (☎98-3155)

山形村史談会主催 総会記念
歴史講演会のお知らせ

日時 3月19日(日) 午後1時30分～
場所 トレーニングセンターふるさと大ホール
講師 小松 芳郎さん (信濃史学会会長、
松本市文書館特別専門員)
テーマ 中村太八郎と普通選挙運動
その他 入場無料
問合せ 山形村史談会 高野 (☎080-3219-7172)

平成29年4月以降の施設予約について

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれ
あいドーム、テニスコート、小学校(体育館、グ
ラウンド)の平成29年度予約が下記のとおり始ま
ります。なお、予約は3ヶ月先まで可能です。
窓口予約・・・3月15日(水) 午前8時30分～
電話予約・・・3月15日(水) 午前11時～
ご不明な点はトレーニングセンター (☎98-
3155) までお問い合わせください。

ふるさと伝承館見学



1月20日(金)、25日(水)に小学
3年生の児童たちがふるさと
伝承館を見学しました。地域
の歴史学習の一環として、当
時の生活や、実際に使われて
いた道具などを目にすること
で、楽しみながら学習を深め
ることができました。児童か

スキー教室(3・4年生)

1月27日(金)、あさひプライ
ムスキー場で小学3・4年生
のスキー教室が行われました。
3年生にとっては人生初スキ
ーという児童も多く、インス
トラクターのレッスンをしつ
かりと聞いて臨みました。4
年生は前年に経験しているこ
ともあって少しの練習でスイ



スイ滑れる児童も多く、来年
の鹿島槍(予定)でも通用し
そうな勢いもありました。

2月3日は節分

2月3日(金)、山形保育園・や
まのこ保育園で節分の豆まき
が行われました。山形保育園
では園児たちが自分で作った
お面をかぶり、豆をぶつけて



福は～内!

元気いっぱいいな園児たちの
手で、邪気(病気や悪運)も
払われたことでしょう。



鬼は～外!

やまのこ保育園では建物の
窓に鬼が嫌うという柵(かざり)を
飾り、紙芝居や手遊びをした
後部屋の中へ豆をまきました。

鬼を追い払いました。

山すそ

それは2月初旬、
娘の入試を前に、
付き添いで「これ
から出発するぞ」
と言っていた矢先
家の階段を踏み外
し、あつという間に階段下
まで転げ落ちた。一瞬何が
起きたのかわからず、呆然
としていた▼その音にびつ
くりした家族は、すぐさま
駆けつけ、一方で転げた本
人は、何ともバツが悪く、
左肩と左腰を強打した痛み
に顔をゆがめ耐えるだけだ
った。この時期、『滑る』

『落ちる』は禁句。受験生
を持つ親ならなおさらだ。
「父ちゃんがお前の代わり
に滑ったからもう大丈夫
だ」と言つてごまかす。物
は言いようである▼2日経
つても痛みが引かないので
行きつけの整形外科に行つた。
「骨までは、いつてないで
すね。これくらいで済んで
良かったですよ」と先生は
筋肉に覆われていたからと
言っていたが、実は昨年11
月にタバコをやめてから6
kg太り、それがクッション
になつて良かったのかもしれない。
思わぬ禁煙の効果
であるが、この体重は何と
かしなければ……。

図書館からのお知らせ

*絵本であそぼ・早春編
『まわれ! びゅんびゅんごま作り』
『びゅんびゅんごまがまわったら』
(林明子) に出てくるごまを作って回し
ましょう。

日時: 3月22日(水)
10:00~12:00
会場: トレーニングセンター
めばえの部屋
定員: 小学生以上20人
持ち物: はさみ

*「家庭菜園のコツ!」講座
平成29年度、公民館と共催で全4
回開催します。ご参加ください。
第1回: 4月16日(日)
問い合わせ 山形村図書館
TEL98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.28

編集=山形村図書館

愛読書にペタリ! 消しゴムはんこで蔵書印づくり

1月21日(土)トレセンにて、「消しゴムはんこで蔵書印作り」の講座が行われました。講師は、朝日村在住の矢崎直美さん。小学生から大人まで、21人で思い思いのはんこを作りました。部屋の中は、和気あいあいと、楽しい気分が充満していて、春が来たかのように感じました。同じデザインを使っても、彫る部分や、名前の入れ方で個性が出ます。自分だけのマイ蔵書印のできばえに、大満足のみなさんでした。



気まぐれ不定期連載 図書館の風景⑥ 日々のつぶやき

*「ここはさあ、うちの本棚がわりなんだよね。この本に、簡単にできる酢豚のつくり方が載ってるんだ!メモしておこうと思ったのに忘れちゃったから借りに来た」
「あー、今日は貸出中か。それが難点だね。うちの本棚は…」
M・Nさん
*「本は一冊にあらさず、です。一冊読むとその周りのことが知りたくなって、次々と興味が広がっていくんですよ。そういうのが『いい本』なんですよ。」
F・Mさん
*自分の本を選ぶのに熱中のおかあさんをよそに、Tちゃん(3才)も本を物色。
T「きまつたよ」
母「いち、いつて並べた?」
T「うん」母「いくつ?」
T「いち、に、さん、いっぱい!」
知らぬ間に本が山積み!
*ダダダダダーと風のようにやってきて図書館を通り抜けて行った小5男子2人。去りに際して「オレ、図書館のにおいが好き」「うん、わかる」と言いながらドアの向こうに消えていった。
*図書館閉めて帰ろうとしたところで常連のHくん(5才)に会っ

た。「どこいくの?」「お家に帰るんだよ」そのまま通用口に向かうと「あれ?おうちいかないの?」ひよつとして図書館に住んでると思ってる?④
みんなのつぶやきをそつと拾ってみました⑤

私のこの一冊

図書館利用者 岩佐 潤

『捨てる! 技術』 辰巳 渚

人生をリセットして、すっきりとした生活を送りたいという人にオススメ。断捨離ブームのオーソリテイの大ベストセラー「捨てる!」技術。この本が、この日本に与えた「捨てる!」という文化は、新しい価値観を、今なお作り出しています。「人生がときめく片づけの魔法」の著者 近藤麻理恵さんもこの本によって開眼したと言って憚らない名著です。また、著者の最新作の『ミニマリストという生き方』に至っては、新しい「生き方」まで提唱しています。部屋にモノが溢れているという人は是非一読を。



おすすめ新着本紹介

『いろがみびりびり』 はやし るい



『偽りの王子』

ジェニファー・A・ニールセン

偽の王子に仕立て上げるべく連れてこられた孤児セージ。4人の孤児の中から選ばれるのは果たして誰か?
『黒い巨塔 最高裁判所』 瀬木比呂志

原発訴訟で電力会社に有利な判決を出すようもくろむ上司に、翻弄され苦しむ裁判官たち。元裁判官が描く本格権力小説。
『ミステリーの書き方』

日本推理作家協会・編著
ミステリー作家たちが明かす、執筆ノウハウや作品の舞台裏。
『桜風堂ものがたり』 村山 早紀



勤めていた書店をやめた傷心の青年が出会ったもの。田舎町の書店の心温まる奇跡を描く。
『新着DVD 慈眼山 清水寺』
村の宝、清水寺をくわしく紹介したYCSの番組です。



山形小学校正門の向かいにある古びた建物、村民の皆さんは何かご存知ですか？
「もちろん知っています」という方が多いと思いますが、「建物は気になっても、何かは知らない」という方も増えているのではないのでしょうか。今月の館報では、その気になる建物の正体『ふるさと伝承館』について特集を組んでみました。

ふるさと伝承館のあゆみ

山形村には、三夜塚、殿村、淀の内と考古学上貴重な出土品に恵まれた遺跡があり、海外にも紹介されたことがある道祖神が数多く存在します。これらの文化財や、村の歴史を語る民俗資料の収集と保存を目的とした資料館に關しては、昭和48年10月の開村百年記念事業のひとつとして、近い将来に建設されることとなっていました。

その後、昭和61年4月に役場が新庁舎へ移転したことに伴い、旧役場庁舎を改築し歴史民俗資料館として利用することが決まりました。

ふるさと伝承館が開館する昭和62年のあゆみは次の通りとなっていました。

- 5月1日 山形村民俗資料館建設実行委員会発足
- 7月1日 民家復元資料搬入
- 7月15日 資料館展示室整備着工
- 8月29日 全館展示終了
- 8月30日 『ふるさと伝承館』と命名
- 9月8日 開館記念式挙行政
- 10月24日 ふるさと伝承館の開館日

開館後は、村内だけでなく近隣市町村からも多くの見学者が訪れ、特別展示会なども開催されてきました。
歴史的に貴重な資料の保存はもちろん、社会教育の補助施設としても活用されて来たふるさと伝承館も今年が開館30年の節目の年を迎えることになりました。

ふるさと伝承館だより『系車』

ふるさと伝承館が開館して3年を迎えた平成2年10月20日に、ふるさと伝承館だより『系車』の創刊号が発行されました。館内収蔵物の紹介や遺跡発掘の様子、昔の年中行事の紹介なども行い、平成18年3月の29号まで発行されました。なお、系車のバックナンバーは、村のホームページから見ることが出来ます。



系車の創刊号(右)と最後となった29号

ふるさと伝承館の見学方法

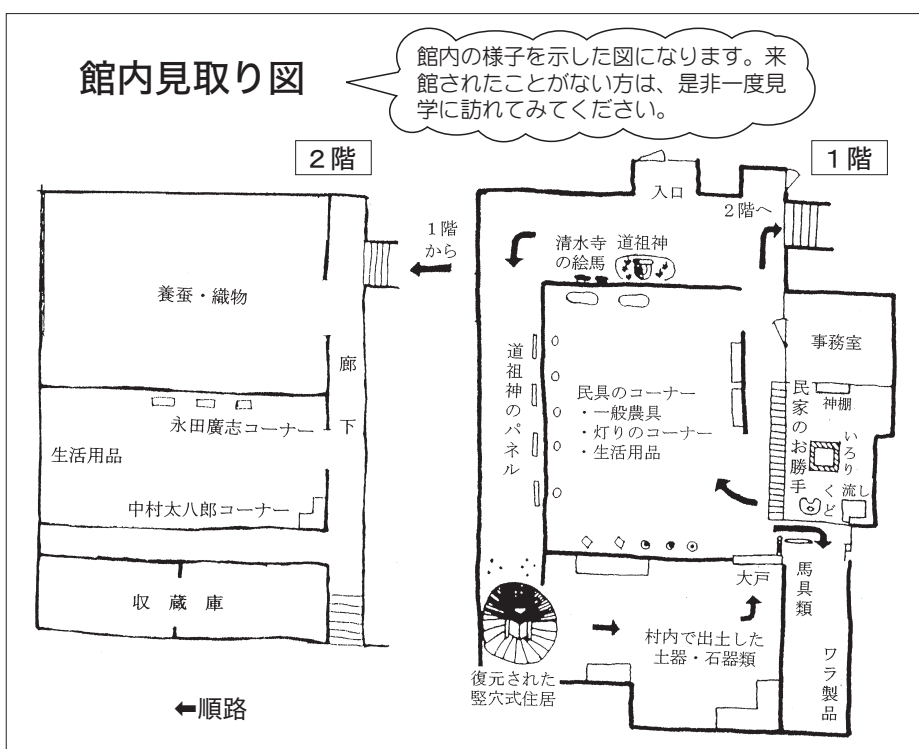
ふるさと伝承館の見学には事前予約が必要です。見学を希望する日の3日前までに、教育委員会へ電話(98-13155)で申し込みをお願いします。
見学できる期間・日時は、

4月から11月の平日午前9時から午後5時(上記以外での見学希望は要相談)です。
料金は、高校生以上が110円、中学生以下は無料となっています。

来館者の状況ですが、小学校の授業以外の見学者は、年間数十人程度と決して多いとは言える数ではありません。

館内見取り図

館内の様子を示した図になります。来館されたことがない方は、是非一度見学に訪れてみてください。





ふるさと伝承館

収蔵物の紹介

数多くの資料が展示されている中でも、『これは』と言うものをここで紹介します。



淀の内遺跡で発掘された、ひすい製のペンダント。4千年も前に新潟県糸魚川から運ばれた貴重品。



三夜塚遺跡から発掘された、有孔鏝付土器。太鼓に使ったとも酒造に使ったとも言われる特別な土器。



殿村遺跡から発見された縄文時代の遺構を基に、2/3の大きさで復元された竪穴式住居。



村の養蚕の歴史を伝える糸車。ふるさと伝承館だよりの題名にもなった。



淀の内遺跡で発掘された、X状把手付大型深鉢形土器。村内で見つかった縄文土器としては最大級の大きさ。



花嫁が馬に乗って嫁入りする時、鞍の両側に付け小物を入れた道具の『こうじ』。家紋が入った特注品。

教育委員会事務局 文化財担当者から一言

立体的で造形美に秀でた縄文土器、便利な機械がなくても工夫して作られた昔の道具、半世紀前までは当たり前に見られた養蚕の道具、江戸時代の様子を伝える古文書、役場で作成された明治期から昭和

期の公文書など約一万四千点の資料をふるさと伝承館では収蔵しています。

これらは村の歴史を知るために欠かせない大切なものばかりです。しかし、それを納める建物の老朽化は深刻です。最近では屋根全体の歪みや、外壁のひび割れがとみに目立つ様になりました。また、耐震性も低く、地震が起きた場合は大切な資料を一瞬で灰燼に帰す危険性を抱えています。

そこで教育委員会では、文化財保護委員会などの意見をもとに、新伝承館の整備へ向けた報告書をまとめ、理事者や庁内関連部局とも協議をしています。

とは言え、村の財政が厳しく、先行き明るいとはいえない状況です。

6年前の館報でも、「これからどうする?どうなる?」と言うことで、ふるさと伝承館について問題提起をしました。

今回、取材のために伝承館を訪れてみて、村の歴史を語る貴重な資料館である事を改めて認識しましたが、建物の老朽化は激しく、今後について考えることが急務だとも実感しました。



《ソフトバレーボール》

上竹田分館

2月5日(日)

女子	男子
優勝 殿村	優勝 原村上
準優勝 四ツ谷上・東・中	準優勝 下本郷
第3位 原村上	第3位 上竹田中村
	四ツ谷上・東・中
	御判行・本郷西・北



下大池分館

1月22日(日)

区民の集い、人権講演会のあと、トレセン体育館に子どもから大人まで約20人が集まり、ワンバウンドふらばーるバレーボールが行われました。最初は独特のルールに戸惑う人もいましたが、ゲーム進行につれ慣れたようで、和やかなムードでニュースポーツを楽しむことができた一日となりました。

冬の恒例行事となったニュースポーツミニ運動会がふれあいドームで開催され、老若男女問わず、多くの区民の笑い声が冬のドームに響きわたっていました。

- 第一位 上北沖
- 第二位 日向
- 第三位 山口

小坂分館

1月29日(日)



冬の山形は寒いぜ!
でもネ・・・
スポーツ大会はアツいぜ!
冬の山スポ

女子	男子
優勝 北中	優勝 神明
準優勝 北村	準優勝 竹原
第3位 竹原	第3位 南堀
	梨の木

下竹田分館

2月12日(日)



《お詫びと訂正》
館報1月号にて、地域づくり表彰を受賞された平沢和久さんの名字が「平林」と誤表記されておりました。訂正し、お詫びいたします。

各分館主催の区民の集いが開催されました

小坂 2月12日(日)
笛師九兵衛おサルコンサート



下竹田 1月22日(日)
古今亭菊生師匠の落語会



下大池 1月22日(日)
古今亭菊生師匠の落語会



山形小学校 校長
中澤美三さんによる
人権講演会



- おこやみ
- 稲田 幸子・84歳・小坂
 - 原口 菊夫・82歳・下竹田
 - 稲田 大司・85歳・小坂
 - 赤羽 富男・76歳・上大池
 - 村上まげる・84歳・下竹田
 - 百瀬 末正・85歳・小坂
 - 住吉捷次郎・77歳・小坂

- 桐原 叶翔・惇 恵里子・上竹田
- 村山 蒼空・紗矢佳・下竹田
- 中村ひかり・真由子・上竹田
- 竹内 縁・環 由実・下竹田
- 堤 翔真・大樹 美由紀・下大池
- 横水 千紘・武晴 郁美・下竹田

おめでた(子・親)
風
(敬称略)

暮らしのスケッチ

古文書を愉しむ

曾根原 淳了あつり (上竹田)

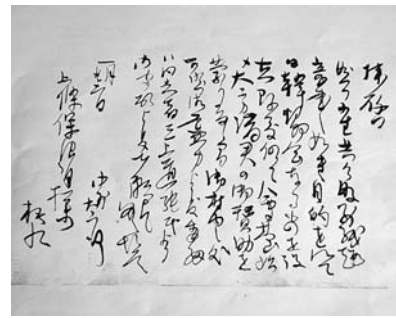
私は村の古文書同好会に所属し、山形村にある古文書の解読を行っています。同好会では50代から80代の6人のメンバーが毎月第3木曜日にトレセンに集まり、現在は中村太八郎が残した手紙の解読に全員で挑戦しています。

太八郎の活躍した明治時代の文字は崩し方がまちまちで難解なのですが、特に手紙の解読は本人のくせ字もあり、非常に難しく苦労しています。

古文書解読は、そこに書かれている漢字を現代の当用漢字に当てはめるのですが、その文字の意味することの解読に成功したときは何とも言えない感動があります。クロスワードパズル



書齋にて



中村太八郎の手紙(コピー)

を全部解ききったような快感といえればお分かりにならない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私が古文書を学び始めたのは、およそ15年前に放送されていたNHK古文書講座からでした。いつかは自分の先祖を調べたいという思いがあり、先祖のことが記してある古文書にめぐり逢えたとき、読めれば役に立つと考えたからです。残念ながら先祖にまつわる古文書にはたどりつきませんが、いつかその時がくるであらうと願っています。

古文書を独学で始めたころ、山形村公民館でも古文書講座

が開講していることを知り受講することにしました。その後、受講したメンバーを中心に古文書同好会を立ちあげました。

江戸時代の山形村は大池村・小坂村・竹田村からなる山方三ヶ村(やまかたさんかそん)と呼ばれていて、幕府直轄の領地でしたが松本藩預かりという立場でした。おもしろいことに山方三ヶ村の年貢の取め方はお米によるものではなく、お金で納める「金納」であったことが古文書の解読で分かりました。

皆で解読した古文書を、故本庄重夫さん(下大池)が冊子にまとめ、5巻作成してくれました。現在は故人の後を引き継いで7巻出しています。山形村図書館にも寄贈してありますので興味のある方はご覧になってください。

私たちが解読した古文書が後世に何から役に立つことがあれば幸いです。生涯現役でいられるようボケ防止を兼ね、毎日少しずつ古文書解読を愉しんでいきたいと思っています。

山形村長選 公開討論会

任期満了に伴う山形村村長選(14日告示、19日投票)において現職の百瀬久氏(67)と下竹田と、新人で元村教育長の本庄利昭氏(65)と上大池の二人で争われました。

告示前の2月12日(日)ミラ・フード館2Fホール・ミラにおいて、村の有志からなる討論会実行委員会が企画した候補予定者(当時)による公開討論会が行われました。

舌戦が繰り広げられる



実行委員会が事前に選んだ三つのテーマから各候補者が政策を発表、それに対しての質問や反論するという形式で行われました。制限時間が設けられ緊迫した空気の中で舌戦が繰り広げられました。

新しいメディアから発信

討論会の模様は各新聞社やYCSなどでも取り上げられました。実行委員会により動画投稿サイト「ユーチュー

ブ」でも生配信されました。会場に100人 高校生の姿も



短期間での呼びかけにもかかわらず会場に100人程詰め掛け、村外の人も数人訪れていました。初めての投票という高校3年生の曾根原とうこさん(下大池)は「候補者の政策が直接聞いて良かったです」と関心を持って参加してくれました。

より良い山形村へ

実行委員長の根橋昌希さん「下竹田は「より良い村づくりに貢献したい。中立の立場で私に出来ること...その答えが『公開討論会』でした。村民の皆さんに関心をもってもらい投票率が上がることを願っています」と村を愛するからこそその熱い思いを語ってくれました。

山形村長選 開票結果

本庄利昭さんが2579票で当選しました。投票率71・59%、前回より0・41ポイントアップしました。山形村の発展を期待します。

笑いに
かける
目指せ
単独全国ツアー!

みんなにたくさん
笑ってもらいたい!!



小松 和哉さん
(下竹田)



中学生の頃、いろいろなモノマネをして、クラスの友だちに笑ってもらえることが嬉しくて「あー、お笑い芸人になつてもっとたくさんの人に笑ってほしいな」という気持ちが芽生えたという和哉さん。高校卒業後、一般企業に就職したものの、その気持ちを忘れることが出来ず「人生一度きりだしやってみよう!」とお笑いの世界に飛び込みました。

現在はコントをやるために重要だと聞いたお芝居の指導を受けたり、ネタ見せ(ライブ)に出るためのオーディションのようなものにユニット「東京スナフキン」またはピン芸人「こまつふぁんたジー」として参加しています。「今の目標は事務所所属の芸人になること。そして将来はキングオブコントで決勝に進出することです」と語る和哉さん。さわやかな受け答えが素敵な好青年です。

あんな
大池 杏奈さん
上大池
(しし座・小2)



こぼ
小波 徹さん
上竹田
(おうし座)

一緒にサッカー
やろうよ!



アツい男?



お父さんお母さんは大のサッカーファンで、テレビ観戦はもちろんだ、スタジアムまで足を運ぶほど。そんな環境で育った杏奈さんが、女の子だけだとサッカーをやりたいという気持ちになつたのは、まったく不思議なことではありませんでした。一年生の秋に少年サッカークラブに入団しましたが、女の子が多いこともあって、現在も楽しくチームメイトとサッカーをしているそうです。女の子だけでチームをつくり、大会に出ることが今の夢とのこと。叶うといいですね!

福岡県出身の徹さんは、会社の先輩が住んでいる山形村に移住して2年目になります。地区行事に積極的に参加していて、ナイターソフトボールやソフトボールのチームにも入り交流を深めており、キッズサッカーではコーチも務めているそうです。

ゴルフが趣味だという徹さん。今は意外にも(?)料理にはまっているそうです。

山形村に来て色々な事を楽しんでいる徹さんですが、取材の最後には「僕はクールな人間です」とはにかなで笑ってくれました。